

外用消炎・鎮痒剤

日本薬局方 フェノール・亜鉛華リニメント

カチリ「ホエイ」

Phenol and Zinc Oxide Liniment

貯法：気密容器、室温保存  
使用期限：5年  
（外箱等に表示の使用期限内  
に使用すること）  
注意：「取扱い上の注意」の項  
参照

承認番号	16100AMZ00606
薬価収載	1956年5月
販売開始	1956年7月
再評価結果	1982年8月

**【禁忌（次の部位には使用しないこと）】**  
び爛・潰瘍・結痂・損傷皮膚および粘膜

**【組成・性状】**

組成

販売名	カチリ「ホエイ」
成分・含量 (1g中)	日局 液状フェノール 0.022mL 日局 酸化亜鉛 100mg
添加物	グリセリン、トラガント末、カルメロース ナトリウム

製剤の性状

白色ののり状で、わずかにフェノールのおいがある。

**【効能・効果】**

皮膚癢痒症、汗疹、じん麻疹、小児ストロフルス、虫さされ

**【用法・用量】**

通常1日1～数回適量を患部に塗布する。  
なお、症状により適宜増減する。

**【使用上の注意】**

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類	頻度	頻度不明
過敏症 <sup>※</sup>	過敏症状	
皮膚 <sup>※</sup>	発疹、刺激感等	

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

2. 適用上の注意

使用時

- (1) 眼には使用しないこと。
- (2) 長期間または広範囲に使用しないこと。

※※【薬効薬理】

皮膚炎に対し、防腐、消毒、鎮痒の各作用を有するリニメントとして使用される。フェノール（2%）の防腐、消毒、鎮痒作用と酸化亜鉛の収れん作用のほか、皮膚面に塗擦すると水分が蒸発してトラガントの薄膜が残り、皮膚を保護する作用を有する。<sup>1)</sup>

※※【有効成分に関する理化学的知見】

1. 液状フェノール

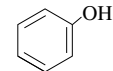
本品は「フェノール」に、その10%に相当する「常水」、「精製水」又は「精製水（容器入り）」を加えて液状にしたものである。  
一般名：〔日局〕液状フェノール（Liquefied Phenol）

性状：本品は無色又はわずかに赤色を帯びた液で、特異なおいがある。  
本品はエタノール（95）、ジエチルエーテル又はグリセリンと混和する。  
本品とグリセリンの等容量混液は水と混和する。  
本品は光又は空気によって徐々に暗赤色となる。  
本品は皮膚を侵して白くする。  
比重  $d_{20}^{20}$ ：約1.065

フェノール

一般名：〔日局〕フェノール（Phenol）  
〔日局別名〕石炭酸

化学名：Phenol  
分子式：C<sub>6</sub>H<sub>6</sub>O  
分子量：94.11  
構造式：



性状：本品は無色～わずかに赤色の結晶又は結晶性の塊で、特異なおいがある。  
本品はエタノール（95）又はジエチルエーテルに極めて溶けやすく、水にやや溶けやすい。  
本品10gに水1mLを加えるとき、液状となる。  
本品は光又は空気によって徐々に赤色を経て暗赤色となる。  
本品は皮膚を侵して白くする。  
凝固点：約40℃

2. 酸化亜鉛

一般名：〔日局〕酸化亜鉛（Zinc Oxide）  
〔日局別名〕亜鉛華

分子式：ZnO  
分子量：81.38

性状：本品は白色の無晶性の粉末で、におい及び味はない。  
本品は水、エタノール（95）、酢酸（100）又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。  
本品は希塩酸又は水酸化ナトリウム試液に溶ける。  
本品は空気中で徐々に二酸化炭素を吸収する。

**【取扱い上の注意】**

経日的に分離を起こしたり、粘度が変化することがあるが、このような場合には、軟膏ペラ等でよくかき混ぜて使用すること。

**【包装】**

500g

※※【主要文献】

1) 第十七改正日本薬局方解説書：C-4420，廣川書店，2016

※【文献請求先】

ファイザー株式会社 製品情報センター  
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7  
学術情報ダイヤル 0120-664-467  
FAX 03-3379-3053



7 5 5



製造販売元  
**マイラン製薬株式会社**  
大阪市中央区本町2丁目6番8号

※販売  
**ファイザー株式会社**  
東京都渋谷区代々木3-22-7



7 5 5

